

傍聴者の声

小浜レディースセミナー 坂本 マサ子 さん
 今回は2回目の議会傍聴でしたが、大変に活発で緊張感ある一般質問と議論に身の引き締まる思いでした。

特に私達高齢者にとって関心がある「地域包括支援センター事業」や地域みんなで支えていくべき「特別支援学校開設」についての議論には共感を覚えました。

人口の減少・地域の過疎化が進むなか、皆で知恵を出し合って共に手を携え、文字どおり住み良い二本松市を不断に目指すため、議会の更なる活躍を期待しております。



6月19日 小浜レディースセミナーのみなさん



6月19日 旭女性セミナーのみなさん

下川崎ふれあい学級 野地 秀克 さん
 私を含めほとんどの会員は、初めての議会傍聴でした。一般質問の初日とあって粛々と議事が進められる様子、市の担当者の答弁など、国会本会議や予算委員会などのテレビ中継と違いヤジも無く、むしろ静かで物足りなさを感じました。

市の中心部と過疎化の進む地方との格差、仮設住宅跡地の利用に何十億もかかること等、年金暮らしの私達にとっては雲の上の話ですが、将来の二本松市にとって、子ども達のために、必要なのかもしれません。

大変勉強になりました。感謝しています。



6月17日 下川崎ふれあい学級のみなさん

全国市議会議長会表彰

6月11日に東京国際フォーラムで開かれた全国市議会議長会第95回定期総会において表彰された議員の表彰状の伝達が、6月定例会最終日に行われました。

【正副議長歴4年以上】

本多 勝実 議長（副議長4年）

【議員歴15年以上】

平塚 與志一 議員



(写真左から) 平塚與志一議員、本多勝実議長

編集後記

5月1日、平成から令和へと元号が変わり、令和最初の6月定例会は通称「国保議会」とも言われており、国民健康保険税の本年度の税額が決定する大変重要な定例会です。一般質問では19名の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

また、5月に行われた議会報告会では、お忙しいなか多くの市民の皆様にご参加いただき、さらに貴重なご意見をいただきましたこと、感謝申し上げます。今後も、更に市民の皆様にかかりやすい議会だよりを発行して参ります。



編集委員会
 委員長
 副委員長
 委員
 員

佐藤 運喜
 石井 敏子
 平井 好夫
 佐久間 敏子
 斎藤 徹
 坂本 和広